

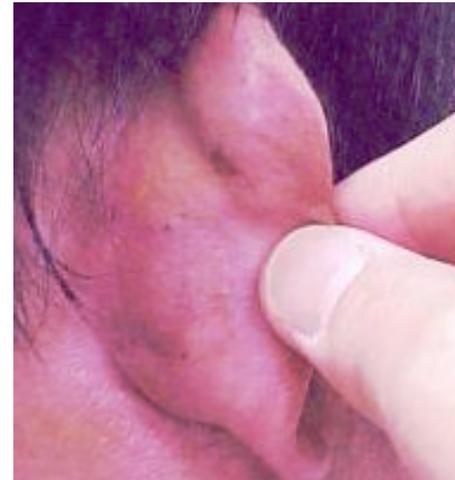
OK-432による耳介血腫治療経験 その2

上越総合病院耳鼻咽喉科
五十嵐良和

耳介血腫に対する手術治療 (切開排液、耳介両面の枕縫合による圧迫)



1週間



初めてOK-432を投与した耳介血腫症例 (手術後の再発例に穿刺、追加投与を繰り返した)



0.5KE



治療2日後



2週後

1KE



3週後

1KE



4週後

1.5KE



6週後治癒

今回の治療方針

初回投与量1KE。

穿刺、追加投与をせず、

じっと我慢して経過観察する。

対 象

上越総合病院およびけいなん総合病院を受診した耳介血腫症例。

症例提示

34歳 男性 上越総合病院



OK-432
1KE注入



治療後1週
発赤腫脹



3週目
縮小傾向



5週目
治癒 わずかに肥厚



37歳 女性 上越総合病院



OK-432
1KE注入



治療後1週
発赤腫脹



3週目
不変



5週目
治癒 やや肥厚ぎみ



けいなん病院の2症例

15歳 男性（柔道選手）

6週で治癒 軽度肥厚

30歳 男性（柔道選手）

5週で治癒 軽度肥厚

OK-432投与後 穿刺をおこなった症例

50歳 男性 上越総合病院



OK-432
1KE注入



治療後1週



穿刺排液



2週目
縮小傾向



4週目
ほぼ治癒



耳介血腫に対するOK-432治療では

**投与後4－6週で治癒
軽度の肥厚が残る？**

**→ 初回投与後、
適当な時期（1週間目ごろ？）に
穿刺減量したほうがよさそう**

治療を受けた患者さんのご意見

○痛みは我慢できる程度でしたか？

Yes 　ただし鎮痛剤が必要（全員）

○再発したら、同じ治療を受けたいですか？

Yes 　入浴できるから

最終的に治るのであればゆっくり待つ

No 　早く治したいから

治療効果が確実なほうがよい

OK-432治療と手術を比較すると

治療期間	長い（4－6週）
治療費用	ほぼ同じ（2000点程度）
確実性	やや劣る？ （投与後の穿刺が望ましい）

まとめ

患者さんに対して、
投与後の疼痛、
治癒までの期間、
追加穿刺の必要性、
軽度肥厚の残る可能性を説明し、
OK-432と手術のいずれにするかを
選択してもらおうとよいだろう。